



「見たり、聞いたり、探ったり」No.301

通算 No.452

青 木 行 雄

東京湾クルーズの見所、散策 夢の島マリーナから（令和7年4月11日）

友人の所有する13人乗りのクルーズ船にて、夢の島マリーナから、桜の散り始めた4月11日午前11：00時に出船した。

※クルーザーはアメリカ製で、CARVER C-34。

夢の島マリーナを出て右に廻り、新木場沖を通り、ゴルフ場の横岸を見ながらゲートブリッジをくぐり、海の森を遠目に東京国際クルーズターミナルを海上から見学、しばらくそのままになっていた船の科学館も本館は解体工事が進んでいた。横に停泊の「宗谷」は今でも無料で公開されているようだ。近く



友人のクルーザー 夢の島停泊、アメリカ製13人乗り、ベッド2台、新船だと約1億円だという



夢の島マリーナ、レストランから写す



船内のキッチン、右が入口



船内のベッド、手前にもう1つベッドがある



新木場近くのゲートブリッジ、船あとの水しぶき、60キロぐらいのスピードで走行中



レインボーブリッジ、後方は晴海のビル街、なんとも爽快であった



羽田沖の飛行機進入路の脇に止め写す



レインボーブリッジの下から写す、なんともでかい橋である

に隣接の東京湾岸警察署は平成20年(2008)2月に誕生した。今から17年前になるが、署の5階から「宗谷」や船の科学館等見下ろした当時を思い出した。署完成時に新木場商工が湾岸署に5台程の神棚を寄付し、私が設置を引受、取付けた当時大工と共に日中3日程滞在した。取付中に当時有名になった人気女優のAが麻薬犯罪でつかまり到着すると館内に放送があり裏門を5階から見下ろすと報道記者等が100人近く待機していた。護送車が近付くと大変な混乱となった。こんな出来事を窓下で見ながら、湾岸署の終日を3日程経験した事があった。

東京国際クルーズターミナルからフジテレビ本社ビルを遠目にお台場海浜公園からレインボーブリッジをくぐり、新豊洲市場を見ながらマグロ卸フィッシャリーズテラスに横付けし、大盛りのマグロ弁当を受け取り(当日出船してから電話注文)浜離宮恩賜庭園へ向った。この庭園横の海上にいきなりをおろし1時間程停泊、庭園の新緑と桜の残花を見ながら、マグロ弁当と酒宴に花が咲いた。

東京都の観光名所ガイドの案内を見ると「浜離宮恩賜庭園」について

「『潮入の池』と2つの鴨場をもつ、江戸時代を代表する徳川将軍家の庭園、池の水に海水を取り込む潮入の池は、潮の干満によって変化する景色を楽しむもので、現在、都内にある江戸の庭園ではこの庭園が唯一。」と書かれていた。



左側が「宗谷」、船内は無料で見学出来るようである。中央のビルが東京湾岸警察署。完成して17年になるという。



クレーン群、キリンと言われており、貨物船の荷物を積み下す



ディズニシーをバックに写す



浜離宮の横に停泊し食事する皆様

もう少々「浜離宮」について記して見る。

黒田淳氏の「東京名所」から要約すると

この「浜離宮恩賜庭園」は徳川将軍家の別荘で江戸時代は「浜御殿」と呼んだ。そして代々の将軍がかかわったが、その中でめずらしい話があるので記して見た。

八代将軍吉宗の時代に、浜御殿の様子が大きく変わったようだ。倹約を重視した吉宗は御殿の管理人員を大幅に削減し、庭園としてただ楽しむ場所だけでなく、実用の場とし、さまざまな植物を植えて栽培方法を試し、実用性を検討したという。

現在、大泉水の、中の島の西側に大きなトウカエデの木が何本かあるが、これは吉宗のお手植えだという。トウカエデは中国原産で、今では紅葉が美しい木として庭園では欠かせない木となった。この庭園の奥には馬場があるが、吉宗がゾウを輸入し、一時期ここで飼っていたという。ベトナムから長崎に輸入されたインド象を吉宗がぜひ見たいというのでなんと75日も歩かせて江戸に連れて来た。吉宗はゾウを江戸城に連れてきたり、浜御殿まで見物にいったりしたが、ゾウには実用的価値がないと飽きてしまったようだ。この浜御殿で飼われた13年間、あまりにエサ代がかかるので中野の農民に貸し出されたというが、扱いが悪く2年足らずで餓死してしまった。その頭蓋骨は戦前の大空襲にて焼けるまで中野にあったという。



ディズニーシー遠景



ディズニーランドの遠景。夜は花火が上がり、山から爆発する玉火が美しい



晴海のマンション群。まだ建設中のビルも多い。ほとんどが億ションである



海上から見る、清掃工場

浜離宮を出て、築地川を通り竹芝栈橋をぬけ、芝浦埠頭を通り羽田空港沖に出て、飛行機進入路の脇にクルーザーを止め、飛行機の下腹を写す、かなりの高音に衝撃も大きい感動も大きい。その足で一路、ディズニー沖に向った。ディズニーシーの沖に停泊し、しばし遠目に見学、建設中にも資材を納入し、2001年9月に開業。招待を受け楽しませてもらった思い出がよみがえる。

今日のクルーズは実に楽しい一日だった。約5時間あまり、天気にもぐまれ、事故もなく感動の連続だった。海から見る東京の景色もすばらしい。船主と同業者に感謝とお礼を申し上げ、今日一日を終了する。

令和7年4月27日 記